

いとまん や え せ
糸満八重瀬地域
 [かんがい排水]

1. 地区の概要

位 置	沖縄本島の南部（那覇市の近郊に位置する丘陵地形の畑作地帯）				
関係市町村	いとまんし や え せ ちやう 沖縄県糸満市、八重瀬町（1市1町）				
地区面積 (ha) (H29調査時)	水 田	畑	樹園地	その他	計
	—	2,121	—	—	2,121
受益戸数	調査中				

2. 現状と事業構想

1) 現 状

本地域は、沖縄本島南部の糸満市、八重瀬町に位置する畑作地帯で、さとうきびを中心に花きなど亜熱帯性気候の特性を活かした農業が展開されている。

本地域の一部は、国営沖縄本島南部土地改良事業（平成4年度～平成17年度）により農業用用水施設が整備され、農業生産性の向上と農業の近代化が図られてきたが、これら施設は造成から20年以上が経過し、水管理施設、ポンプ設備、電気設備等の機械設備は老朽化が進行し、今後10年以内に耐用年数を迎える施設が多数あり、これら施設の更新整備を適時に行わなければ、維持管理に多大な費用と労力を要することから、適切な時期の更新整備が必要である。

また、その周辺地域の農地は、区画整理が実施されているものの、安定した農業用水の確保が困難であることから、さとうきびから施設野菜や施設果樹等の高収益作物への転換が進まず、農業振興の大きな妨げとなっている。

2) 事業構想

本事業により、農業用水の再編を行い、農業用用水施設の更新整備及び新設整備を行うとともに、関連事業による末端用水路等の整備を行うことで安定的なかんがい用水を確保し、生産性の向上及び農業経営の安定を図る。

- ・ 主要工事：貯水池（新設・更新）、取水施設（新設・更新）、揚水機場（新設・更新）、用水路（新設・更新）、水管理施設（新設・更新）

3. 調査内容

補足的な施設機能診断による施設の老朽化状況の把握及び地区内外の用水需要を再確認し、受益面積、営農計画、用水計画、施設整備計画等を概定するとともに、概略事業費、費用対効果分析、地元意向確認等を行い概略整備構想を策定する。